

科目名	精神看護学概論	教員名	浅野 均	学科等	看護	必修	履修年次	2
(科目番号)	(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	講義	オフィスアワー	各教員研究室	
授業概要	現代社会におけるさまざまなメンタルヘルス上の問題から「生きづらさ」を抱える人が増え、そのニーズも多様化している。本講義では、そうした背景を見つめ、身体とそこには密接な関連性があることを理解するとともに、こころの健康の保持増進とメンタルヘルス上の問題を支援するための基礎的な知識・技術を学ぶ。							
目的・目標	目的:現代社会におけるメンタルヘルス上の問題を認識し、精神看護の対象に対する理解を深め、看護師の役割と支援に必要な基礎的知識・技術を学ぶ。 目標:1. 現代社会における精神保健の背景について理解できる。2. こころの健康の保持増進に向けた看護の役割について理解できる。3. 精神に障がいを抱える対象を支える保健・医療・福祉制度について理解できる。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	精神看護の基礎	到達目標:精神看護の必要性和精神看護学の基本的な考え方を説明できる。 学習内容:精神看護学のとらえ方、精神看護ニーズと精神科医療の現状を学習する。					
	2	現代社会とメンタルヘルス 偶発的危機	到達目標:対象となる人々のニーズとメンタルヘルスについて具体的に述べることができる。 学習内容:偶発的危機のメンタルヘルスについて学習する。					
	3	現代社会とメンタルヘルス 依存症	到達目標:現代社会における依存症の問題点を理解して、支援対策を説明できる。 学習内容:依存症の定義・背景・障害の理解と医療体制・支援機関を学習する。					
	4	現代社会とメンタルヘルス 自殺	到達目標:自殺を生み出す社会構造を述べ具体的支援を説明できる。 学習内容:自殺の背景と現状、自殺総合対策の現状と課題を学習する。					
	5	精神医療看護の歴史	到達目標:精神障害者の人権に配慮した治療や処遇の実態を説明できる。 学習内容:精神医療看護の歴史、人権、精神障害と文化・社会学・法制度と課題を学習する。					
	6	精神の健康と精神の障害	到達目標:「疾患モデル」と「障害モデル」の違いを解釈できる。 学習内容:精神の健康と精神障害者の法律的定義、精神障害のとらえ方等を学習する。					
	7	家族と集団	到達目標:精神看護における家族の感情表出について具体的に述べることができる。 学習内容:家族の健康、家族療法と感情表出について学習する。					
	8	人間のしくみと人格の発達	到達目標:人間のこころの諸活動と具体を説明できる。 学習内容:精神分析と精神力動理論について、自我の構造、不安と防衛を学習する。					
	9	児童精神科における発達障害・愛着	到達目標:発達障害・愛着の現状と児童を取り巻く環境について、理解することができる。 学習内容:発達障害・愛着の理解と現状の課題、発達理論について事例を引用して学習する。					
	10	こころの危機とストレス	到達目標:危機を乗り越え、成長していくために必要な支援と力を説明できる。 学習内容:危機理論とストレス理論、ストレスコーピング、回復に必要な支援と力を学習する。					
	11	精神科での治療	到達目標:さまざまな治療の効果と課題を列挙できる。 学習内容:薬物療法、電気けいれん療法、精神療法、環境療法等について学習する。					
	12	精神科における リハビリテーション看護	到達目標:リカバリ、ストレングスの概念と具体例を述べることができる。 学習内容:精神におけるリハビリテーション看護について学習する。					
	13	地域における精神看護	到達目標:地域生活を可能にするために必要な社会資源や連携について説明できる。 学習内容:地域における看護活動の実態についてVTR教材を用いて学習する。					
	14	リエゾン精神看護	到達目標:リエゾン活動の実態と課題について説明できる。 学習内容:リエゾン精神看護の定義、役割、活動について学習する。					
	15	看護における感情労働と 看護師のメンタルヘルス	到達目標:将来をイメージしながら看護労働を続けるためのメンタルヘルスを推察できる。 学習内容:看護師の不安と防衛、感情労働としての看護や代償等について学習する。					
成績評価の方法・基準	対面時:期末試験(60%)＋講義毎の小テスト(20%)＋課題レポート(20%) オンライン時:課題レポート(60%)＋講義毎の小テスト(40%)							
教科書	①系統看護学講座 精神看護学[1]「精神看護の基礎」 ②系統看護学講座 精神看護学[2]「精神看護の展開」		著者:武井麻子			医学書院		
参考図書	・国民衛生の動向 ・随時紹介		厚生統計協会			厚生統計協会		
教員からのメッセージ	・病院や施設などで勤務経験のある看護師が授業を担当します。 ・現代社会のメンタルヘルスに関する動向に着目し、興味関心をもち出席いただけると嬉しいです。 ・精神看護は、自身の生涯のテーマでもあります。積極的に学び、考えを深められるようにしましょう。 ・オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合には、オンラインクラスでシラバスの変更を周知します。							